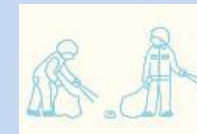




今年も恩智川において美化活動及びゴミの組成調査を 実施しました (ワークショップも併せて開催)



柏原市では毎年、柏原市民の会により恩智川のゴミ削減に向けた取組みが行われています。今年度も、12月3日に恩智川河川敷にて清掃およびゴミの組成調査が行われ、12月16日にはその調査結果を振り返るためのワークショップが実施されました。

恩智川クリーン・リバープロジェクトとは

恩智川流域では流域住民、大東市、東大阪市、八尾市、柏原市が連携し、ワークショップを開催して美化活動やばい捨て防止の啓発を行うなど、ごみの削減に向けた取組みを進めています。



【当日のプラごみ: 6kg, その他ごみ: 14kg, 調査延長: 200m】



【活動エリア】 柏原市法善寺周辺



【ゴミ調査カード】

調査年月日: 2022年12月3日
 調査場所: 法善寺周辺
 実施団体: 八尾土木事務所
 調査員: 藤井 正樹

飲料・食品の容器包装		飲料・食品以外の容器包装		その他	
1	ペットボトル	8	プラスチック容器	11	紙類
2	ペットボトルキャップ	9	タバコ	12	その他
3	ペットボトルのフタ	10	タバコの吸い殻	13	その他
4	ペットボトルのラベル	11	タバコのフィルター	14	その他
5	ペットボトルのキャップ	12	タバコのフィルター	15	その他
6	ペットボトルのキャップ	13	タバコのフィルター	16	その他
7	ペットボトルのキャップ	14	タバコのフィルター	17	その他

【ゴミ調査の結果】 ()は昨年度結果

- 第1位 ナイロン破片 (3位)
- 第2位 飲料缶 (4位)
- 第3位 タバコの吸い殻 (2位)
- 第4位 食品用包装 (1位)
- 第5位 買い物レジ袋破片 (5位)

【調査結果】

昨年度同様、ナイロン破片等のプラスチックゴミや飲料缶、タバコが多く見られました。またフライパンや電化製品といった例年にはない不燃ゴミも見られました。この結果を踏まえ、今年度は、ゴミが多い所には啓発看板を設置するなど、より対策を強化していくことを決定しました。